

太平四丁目町会 女性部日帰り研修旅行

2017年7月9日（日）

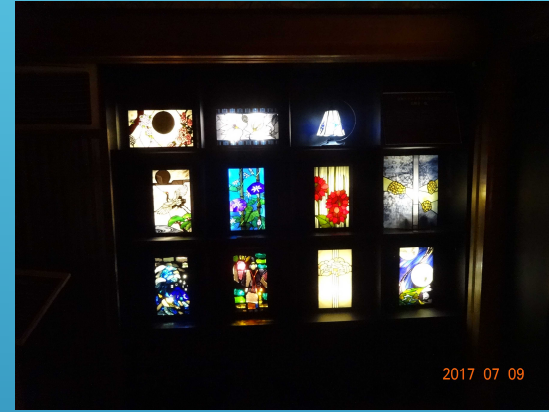
2017年7月9日（日）8時45分に、43名の参加者が町会会館に集合して、「女性部日帰り研修旅行」へ出発しました。



厳しい暑さを予感させる中、まずは、築地場外市場で買い物です。



お昼にかけて、目黒雅叙園でランチを楽しみ、百段階段&和の明かり展を見学しました。
この「百段階段」は通称で、かつての目黒雅叙園3号館にあたり、昭和10年に建てられた目黒雅叙園の中で現存する唯一の木造建築です。7つの和室を99段の長い階段廊下がつなぐというユニークな造りになっています。各部屋の様子をご覧ください。



ちなみに、99段なのに百段階段というのは、一段へりくだって99段にしているという理由と、九という数字が縁起がいいからとのことらしいです。

目黒雅叙園を後にして、迎賓館赤坂離宮へ向かいました。

迎賓館赤坂離宮は、外国の元首や首相など国の賓客に対して、宿泊その他の接遇を行うために設けられた迎賓施設です。

賓客の滞在中は、首脳会談、表敬訪問、署名式、レセプションや晩餐会など様々な公式行事が行われます。

迎賓館は、これらの接遇を通じて外交の重要な一翼を担っています。

迎賓館の一般公開については、接遇等に支障のない範囲で、可能な限り年間を通じて公開されています。



最後は旧古河庭園です。

写真はありませんが、武蔵野台地の斜面と低地という地形を活かし、北側の小高い丘には洋館を建て、斜面には洋風庭園、そして低地には日本庭園を配したのが特徴です。

この庭園はもと明治の元勳・陸奥宗光の邸宅でしたが、次男が古河家の養子になった時、古河家の所有となったことから、旧古河庭園と呼ばれます。尚、この当時の建物は現存していません。

こちらの庭を散策してから、帰路につきました。

この日は日中気温がグングン上がり、特に後半は日陰となる場所がなく大変でしたが、とても素晴らしいコースを楽しんだ一日になりました。